

平成 28 年 5 月 9 日

各 位

会 社 名 株式会社免疫生物研究所
(コード番号：4570)
本店所在地 群馬県藤岡市中字東田 1091 番地 1
代 表 者 代表取締役社長 清 藤 勉
問 合 せ 先 取締役事業統括推進本部長 中 川 正 人
電 話 番 号 0274-22-2889 (代表)
U R L <http://www.ibl-japan.co.jp>

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績を踏まえ、平成27年11月6日に公表しました平成28年3月期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

- (1) 平成 28 年 3 月期連結業績予想数値の修正
(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	一株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	730	△115	△120	△55	△8 円 40 銭
今回修正予想 (B)	717	△75	△81	△31	△4 円 86 銭
増減額 (B - A)	△12	+39	+38	+23	
増減率 (%)	△2	-	-	-	
前期実績 (C) (平成 27 年 3 月期)	729	△181	△139	△158	△24 円 20 銭
増減額 (B - C)	△11	+106	+57	+126	

(2) 修正理由

売上高につきましては、当第 1 四半期におけるタカラバイオ株式会社からの在庫買戻しによる返品処理の影響もありましたが、当第 3 四半期以降、自社製品である E I A 測定キット並びに抗体製品の販売が、国内外ともに順調に推移し、さらに、受託サービスにおいても受注が増加した結果、ほぼ前期並みの売上を計上することが出来ました。

営業利益につきましては、販売方針の変更により粗利益率が大幅に向上したことにより予想を上回る利益の改善となりました。また、在庫買戻しによる損失を前連結会計年度末に引当計上を行っていることから、前期の赤字額から大幅に改善することとなりました。経常利益及び親会社株主に帰属する

当期純利益につきましては、本日発表致しました「営業外収益の計上及び営業外費用の計上並びに特別損失の計上に関するお知らせ」のとおり、営業外費用及び特別損失を計上致しましたが、営業利益の改善により予想を上回る利益の改善となりました。

当社グループの利益は、マイナスとなっておりますが、遺伝子組換えカイコを用いた抗体医薬品の実用化を目指し、人員の増強やパイロットプラント（前橋研究所）稼働準備等により、研究開発を積極的に行っていることによるものです。また、今後も引き続き遺伝子組換えカイコを用いた抗体医薬品原料の研究開発に投資して参ります。

(注) 上記の予想は現時点において入手可能な情報に基づき算出したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後の様々な要因により上記予想数値と異なる場合があります。

以上